

様式 1

授業科目 社会福祉政策論 I

【担当教員名】 横山和彦		対象学年	2	対象学科	作業・社会
		開講時期	後期	必修・選択	選択・必修
		単位数	2	時間数	30
【概要及び学習目標】 〈概略〉本講義は、社会福祉政策を内包した社会保障製作の展開過程を分析、意義付けることを究極の目的とする。社会保障は、1945年以降政策課題となった。そうして、1960年初代初頭重要政策課題となり、1970年代には最重要政策課題となった。講義では、この家庭を実証的におう。 学習目標 国家財政にしめる社会保障費の推移を分析すると、社会保障の政策としての位置が判明する。講義では財政学の業績を採用しながら社会保障製作の重要性を解明する。					
回数	学習の主題	学習内容			学習方法
1-3	序章	社会保障政策研究の課題と方法			
4-5	第1章	社会保障政策の目的			
6-7	第2章	社会保障政策思想の潮流			
8	第3章	市場経済の欠陥と社会保障政策			
9-10	第4章	社会保障政策前史			
11-14	第5章	社会保障政策の展開			
15	試験				
【評価方法】 ①出席、②レポート、③期末試験を総合する。 学期末試験による単位取得か否かの評価					
【履修上の留意点】 主体的・積極的に学習すること。特に質問したり討論に参加することを求める。 授業中の飲食、男子学生の着帽、私語など禁止					
【使用図書】					
教科書・参考書別	書名	著者名	発行所	発行年・価格・その他	
教科書 参考書	特になし 必要に応じて示す				